



*現場の「声」を紹介



「庄屋公園を守る会」会長
山村秀光さん

(約34年にわたり庄屋公園で花壇活動、清掃活動を実施。同活動により、「平成30年度大阪府みどりの功労者表彰」を受賞)

庄屋公園が昭和57年に開設された時は子どもの遊ぶ場所

が周りになかったため、地域のみんが喜んでいました。「せっかくできた公園を地域で守っていきたい」と考えたのが庄屋公園を守る会を発足させたきっかけです。ここは広い上に、落ち葉が多く、雑草をひくことも大変で、苦勞が絶えませんでした。清掃や花壇の手入れだけでなく、どこにどの花を植えるのか、何十年も試行錯誤して、今の形になりました。ただ、市が協議の中で、私たちの要望を叶えてくれてきたこともあり、長く続けて来られたと思います。

自分で手入れして、公園がきれいになったのを見たり、皆さんからのねぎらいや、「わざわざ迂回して公園を通って帰る」という声を聞いたりした時は嬉しくてやりがいを感じますね。

「セッピー・ハッピー」リーダー
中道晃さん

(昨年度、花と木の実践養成教室卒業。他の卒業生らと「セッピー・ハッピー」を結成し、今年度は主に市役所前花壇を担当し、活動中)



昔から花が好きで、家でも花の世話をしていたのですが、昨年の広報紙で、花と木の実践養成教室の参加者募集の記事を見て、外の花壇でも世話をしたいと思ったのが、同教室を受講したきっかけです。教室では、みんなが和気あいあいと話をしていて、家でただテレビを見ているよりずっと楽しく、卒業後には、皆でグループを作り、活動を続けようとなりました。

4月から市役所前の花壇を担当し、「無理せず、出来る範囲で」「皆と一緒にやろう」の考えのもと、花を育てています。班長をはじめ、メンバーがすごく助けてくれるので、とても心強くありがたいです。

グループ名には「摂津市みんながハッピーになるような花活動」という意味を込めています。今後も皆で話し合いながら、楽しく活動していきたいと思っています。

市内38団体が 花いっぱい活動

市では、公共の場所で花壇管理をしている団体・グループに、「花いっぱい活動助成」として、草花の苗や種、球根、堆肥、土などを支援しています。

同活動の助成を受けた団体やグループが、花壇の水やり、除草などをを行っています。四季を通じて

草花を楽しむことができるよう、年3回程度(地域によって異なります)、草花の植え替えも行っていきます。

教室に参加して 広げよう緑化の輪

市は、緑化の輪を市内に広げ、緑化に関わる人材が育つよう、毎年、「花と木の実践養成教室」を鶴野苗圃(鶴野3丁目)で開催しています。同教室では、種まきから花苗の育て方、花壇の管理方法、寄せ植えなどを実践で学べます。教室の卒業生たちは、地域にある市の花壇などを受け持ち、季節ごとに花の育成を行っています。昨年度の卒業生は、現在、市役所前の花壇で活動中です。



▲花と木の実践養成教室



第二中学校前



庄屋公園



摂津市役所前



香露園交差点

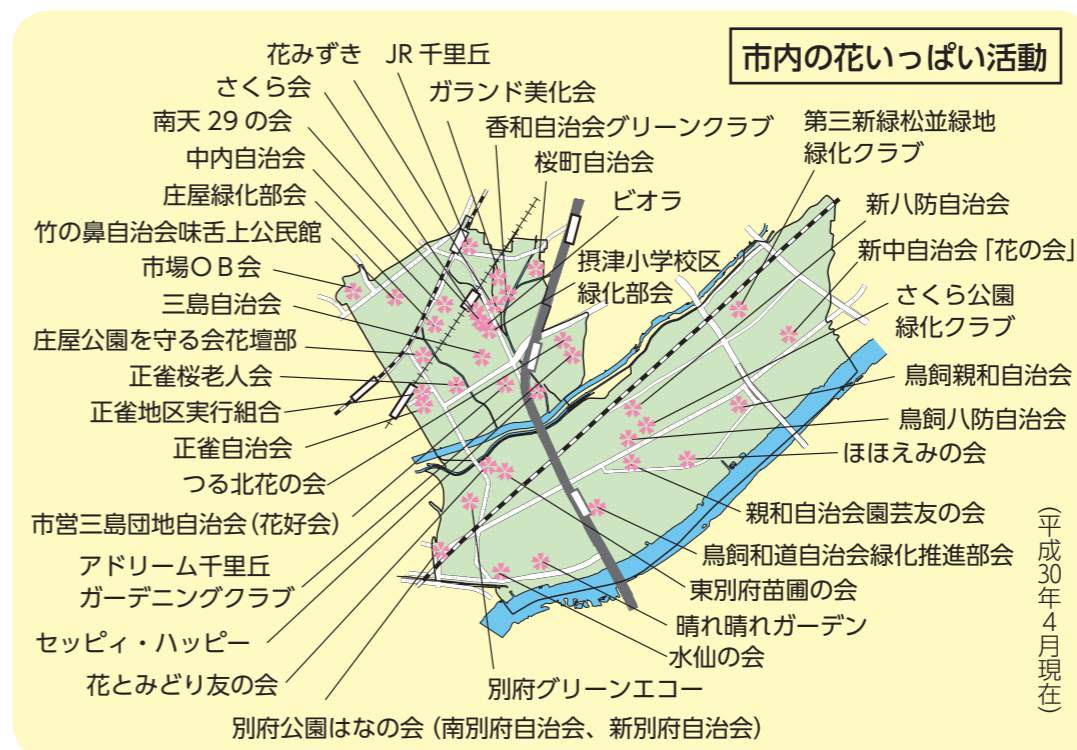


阪急摂津市駅前



鳥飼八町公園前

地域ので花いっぱい



(平成30年4月現在)

さまざまな花で彩られる、みどりの季節となりました。市内には自治会や市民サークルなど、さまざまな緑化を進める団体があり、まちに潤いを与えてくれています。皆さんが何気なく通り過ぎていく街角に咲く花も、そういった人たちの力によって育まれているものかもしれません。今回、市内の緑化の取り組みを紹介します。